

日本吃音・流暢性障害学会 第3回大会 (会場:大阪保健医療大学 2号館)

STの養成校においても、病院やことばの教室などの指導の現場においても、多くの教官・ST・教師が「自信がない」ことを理由に吃音の相談や指導・助言を敬遠している現状があります。

ですが、「自信がない」からといって吃音のある子どもやその親御さん、吃音のある人への支援を私たちが放棄をしたとしたら、他の誰が、どの専門職が吃音のある人、その家族への支援の手を差し伸べられるのでしょうか。

8月29日(土)
15:20~17:20

吃音ガイドラインセミナー

吃音のある人やその家族は、信頼できる情報、具体的な助言や指導を早急に望んでいます。吃音・流暢性障害学会では、吃音臨床の底上げと、吃音臨床に取り組もうとする臨床家を増やし、相談窓口の拡大につながるようこの願いから、『吃音臨床ガイドライン』を作成しました。幼児期から学童期を中心に、初回面談の組み立て方、基本情報の提供の仕方、評価・指導など、臨床の発展のためのヒントを記しています。このセミナーでは『吃音臨床ガイドライン』を実際に使っていくための講習を行います。吃音臨床が初めての方や吃音臨床経験の浅い方を中心に、ご参加をお待ちしています。

● 参加の申し込み方法

- 当セミナーへの参加には、日本吃音・流暢性障害学会 第3回大会への参加登録および参加費が必要となります。
- 参加のお申し込みは、Webエントリーシステムからお願いします。
- <http://www.gakkai.ne.jp/jssfd2015/registration.html>
- 定員100名で締め切らせて頂きます。

お問い合わせは

日本吃音・流暢性障害学会 第3回大会事務局

〒566-8501 大阪府摂津市正雀1丁目4番1号
大阪人間科学大学 医療心理学科言語聴覚専攻 安井美鈴
Fax: 06-6381-0025 Mail: m-yasui@kun.ohs.ac.jp
※お問い合わせはできるだけメールでお願いいたします

